



河北町立西里小学校学校便り

発行：校長 須藤里佳

令和7年2月28日

nishizato



「きょういく」を共に育つと書いて「共育(ともいく)」



2月14日(金)、授業参観後にPTA研修会が行われました。講師として村山市はやま認定こども園長で県家庭教育アドバイザーの土屋常義氏よりおいでいただきました。「共に学び 共に笑い 共に育ちあう ～共育(ともいく)応援団からのメッセージ～」という演題でした。

講演後、何人もの保護者が感想にあったのが、シンガポールのある子どもの夢の話です。「あの例話はハッとさせられた」とありました。さて、次の()に何が入ると思いますか。

シンガポールのある子どもの夢「ぼくは()にいたい」

正解は「スマートフォン」です。なぜなら、親がスマートフォン(スマホ)が大好きだからだそうです。少年は言います。「(一部抜粋) 仕事から疲れて帰って、スマホの時間はあるけど、ぼくのための時間はない。スマホが鳴るとすぐ出るんだ。ぼくが泣いてるときでさえ。ぼくじゃなくてスマホと遊ぶ。だから、ぼくはスマホになりたいんだ。」この例話で、自分も気をつけなければと感じたおうちの方も多くいたようでした。

自尊感情に関する国際調査で、「自分はダメな人間だと思うことがある」と思う日本の子どもの割合は7割にもなったそうです。自尊感情は人間の活動の根幹です。生きる力の源です。

そして、子どもの自尊感情を高められるのはおうちの方です。自尊感情を育むには、まずは**規則正しい生活習慣**だそうです。「大人の子どもに**かける言葉**が変わると、子どもの将来も変わる。呪いの言葉をやめて、子どもを勇気づける魔法の言葉を使ってみよう」という土屋先生の言葉にも納得しました。**自然体験の大切さ、遊びは学び**ということ、祖父母や地域の方の余裕のある「**ななめの関係性**」を十分に利用すること等、気づきがたくさんあった講演でした。

いっしょに 親子読書

食堂の掲示板に「親子読書カード」が貼ってあります。「親子読書」は**西里小学校の誇れる文化**だと思っています。子どもが本の感想を書いたその下に、同じ本を読んだ親が感想を書くカードです。見ると、親子で感想を交流する姿が見えてくるようです。そして親の感想に多いのが、子どもの成長に驚く言葉や、子どもの幸せを思う言葉です。「親子読書」年2回ですが、ぜひこのような読書体験が増えることを願っています。



みんなで遊びたい！

卒業を目の前にした6年生が、全校生で遊ぶイベントを企画しました。先生と子どもたちの勝負「全校かくれんぼ」です。その提案を聞いた時からみんなワクワクでした。元気もりもり委員会主催の「なわとび大会」もありました。学校全体がすごい熱気に包まれました。

【イベントその1】全校かくれんぼ



子どもチーム勝利！

【イベントその2】大なわとび大会



1位6年、2位2年、3位5年

西里小学校がますます仲良しになるように考えてくれた6年生に対して感謝の気持ちを表した「**6年生を送る会**」が2月26日（水）に行われました。いつも先に立って引っ張ってくれた6年生とお別れするのはさみしいものです。卒業式まではまだ日がありますが、6年生に感謝の気持ちを伝える会にしました。6年生を囲んで、楽しい時を過ごすことができました。（会の様子はホームページをご覧ください。）

交通指導員さんありがとう！

2月18日（火）、交通指導員さんの安達智勇さんにおいでいただき、感謝の会を開きました。ご自身の経験をもとに「車が止まってくれるだろう」と思い込むことは危険だということをお教えくださいました。子どもたちからの「質問コーナー」で指導員さんになった理由などの話も聞くことができ、さらに指導員さんのことを知ることができました。

なお、庄司和義さんは今年度でおやめになります。子どもたちのために尽力してくださり誠にありがとうございました。

3月の予定

11（火）卒業式練習

12（水）今年度最後の子ども文庫

13（水）卒業式総練習・給食最終

14（金）河北中学校卒業式

17（月）修了式・通知表配付

18（火）卒業証書授与式

年度末年度初め休業

3/19(水)～4/7(月) 離任式がないので、春休み中の登校はありません。

おめでとう

「川をきれいにする児童図画展」【ポスターの部】

【銀賞】 3年 庄司 真悠

【佳作】 3年 池田 煌樹



今年度の学校評価をホームページにあげております。ご覧ください。